

シンポジウム：細胞アッセイ技術の現状と将来

2016年1月19日(火)

東京大学生産技術研究所コンベンションホール

主催：細胞アッセイ研究会

共催：公益社団法人化学工学会バイオ部会（予定）

国立大学法人東京大学生産技術研究所（予定）

独立行政法人産業技術総合研究所創薬基盤研究部門（予定）

協賛：一般財団法人バイオインダストリー協会

一般社団法人化学とマイクロ・ナノシステム学会（予定）

日本動物実験代替法学会（予定）

特定非営利活動法人エイチ・エー・ビー研究機構（予定）

公益社団法人日本生物工学会セルプロセッシング計測評価研究部会（予定）

日本薬物動態学会（予定）

我が国では幹細胞を利用した再生医療に注目が集まっていますが、創薬分野でヒトの iPSC や MSC に最も期待されているのが疾患モデルの作製です。米国ではヒト iPSC の利用目的は疾患モデルの作製が中心で、この点に関して日米格差が広がっていると懸念されます。そこで、本年度のシンポジウムでは「疾患モデル」に着目し、この分野でご活躍の 5 名の先生方に基調講演をお願いする予定です。

また、例年通り細胞アッセイ技術全般に関する一般研究発表をポスター形式で募集いたします。

沢山の皆様の研究発表のお申し込み、ご参加をお待ち申し上げます。

組織委員

石田 誠一（国立医薬品食品衛生研究所）

加藤 将夫（金沢大学医薬保健研究域）

柿木 基治（エーザイ(株)）

金森 敏幸（産業技術総合研究所）

清川 順平（中外製薬(株)）

小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所）

小林 英毅（第一三共(株)）

斎藤 幸一（住友化学(株)）

酒井 康行（東京大学生産技術研究所）

薩川 正広（科研製薬(株)）

清水 秀忠（日本ベーリンガー・インゲルハイム(株)）

杉浦 慎治（産業技術総合研究所）

平林 英樹（武田薬品工業(株)）

山田 泰弘（日本薬科大学）

山下 伸二（摂南大学薬学部）

プログラム

9:50 開会の挨拶

10:00 ヒト細胞の医工学研究 ～幹細胞の用途～

産業技術総合研究所創薬基盤技術研究部門 木田 泰之

10:40 消化管疾患研究のための新たな幹細胞誘導体モデル開発

国立成育医療研究センター研究所再生医療センター 阿久津 英憲

11:20 iPS 細胞を用いた血液疾患の疾患モデリング

京都大学 iPS 細胞研究所 斎藤 潤

～ 昼食 ～

13:00 iPS 細胞の創薬分野での活用

セルラー・ダイナミクス・インターナショナル・ジャパン株式会社 都築 博彦

13:40 疾患研究における細胞バンク事業の役割

理化学研究所バイオリソースセンター 中村 幸夫

14:20 オンチップがんモデル

慶應義塾大学理工学部 須藤 亮

15:00 ポスター発表 (於 ロビー)

17:30 懇親会 (於 ロビー)

一般演題募集

ポスター発表で募集いたします。発表申し込みは、タイトル、全発表者名と所属、連絡担当者名と e-mail アドレスをご記載の上、メールで下記問い合わせ先までお願いします。締め切りは 11 月 20 日(金)です。また、12 月 4 日(金)までに要旨(A4 で 1 枚、カメラレディ)を提出して頂きます。

参加申し込み

事前申し込みをお願いします。一般演題に申し込んだ方も、参加申し込みが必要となります。参加者のお名前、ご所属、e-mail アドレス、ご住所および懇親会参加の有無を記載し、メールで下記問い合わせ先まで申し込み下さい。折り返し、お支払い方法等をお知らせ致します。

参加費 5,000 円

懇親会 5,000 円

問い合わせ先

国立研究開発法人産業技術総合研究所創薬基盤研究部門

金森敏幸

TEL 029-861-6286

e-mail: t.kanamori@aist.go.jp